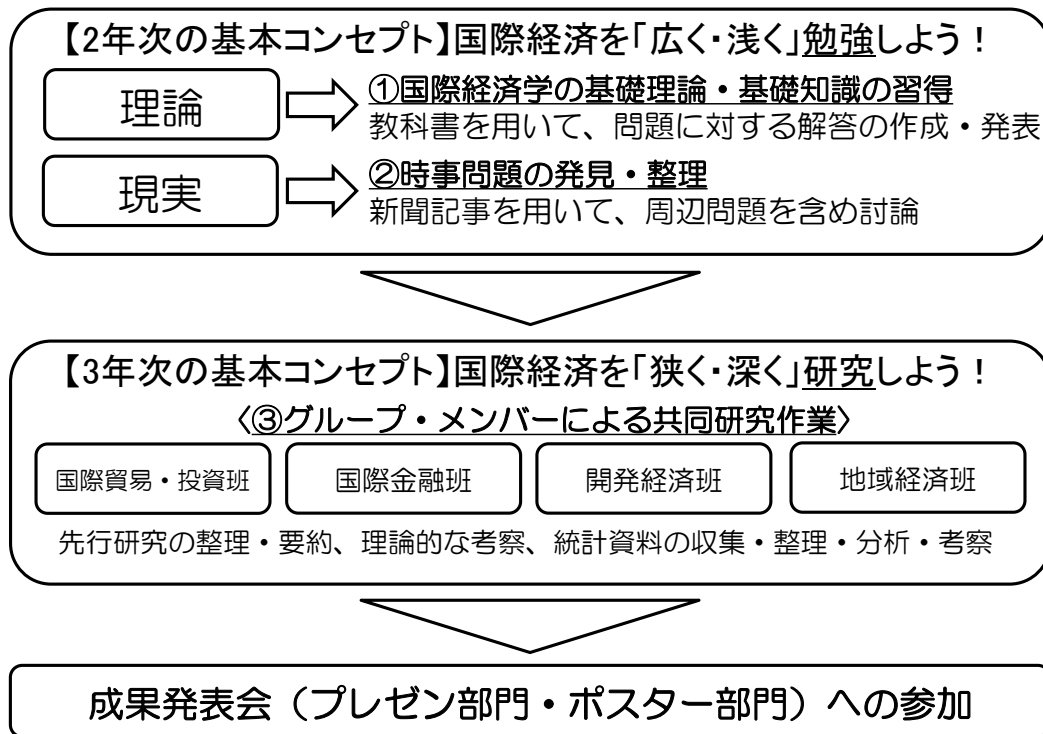


葛目知秀ゼミ

ゼミ見学会・交流会配付資料

葛目ゼミにおける勉強・研究活動の全体像



①国際経済学の基礎理論・基礎知識の習得

教科書：浦田秀次郎・小川英治・澤田康幸（2011）『はじめて学ぶ国際経済』有斐閣アルマ

第Ⅰ部 国際貿易・投資

第1章 なぜ貿易が行われるのかー貿易パターンの決定・貿易の利益ー

第2章 なぜ政府は貿易に介入するのかー貿易政策ー

第3章 なぜ地域統合が行われるのかー地域経済統合ー

第4章 なぜ海外投資が行われるのかー直接投資ー

第Ⅱ部 国際金融

第5章 どのように国際的に資金が流れるのかー国際金融取引の流れ・資金の流れー

第6章 為替レートはどのように決まるのかー為替レートの決定ー

第7章 どのように為替レートを安定化させるのかー為替介入とマクロ経済政策ー

第8章 どのようにして安定した国際通貨制度を構築するのかー国際通貨制度・通貨統合ー

第Ⅲ部 開発経済

第9章 なぜ豊かな国と貧しい国が存在するのかー経済発展ー

第10章 どのようにして貧困を削減すればよいのかー世界の貧困問題ー

第11章 どのようにして開発援助を行えばよいのかー政府開発援助（ODA）ー

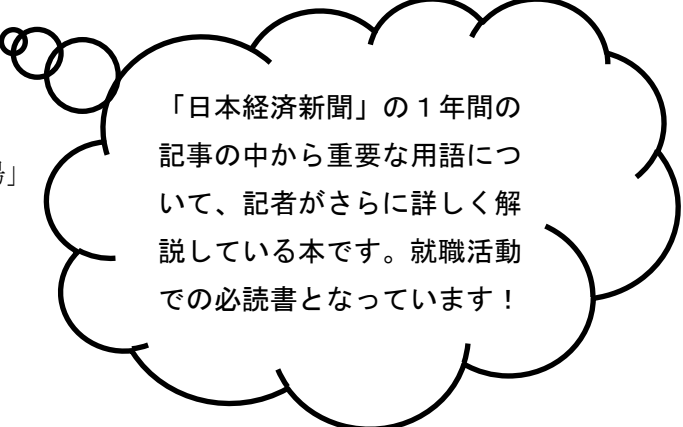
第12章 どのようにして環境と開発の共存を達成するのかー持続可能な開発ー

今日の内容

②時事問題の発見・整理（2012 年度に取り上げた国際時事問題（2011 年～2012 年）

教科書：『日経キーワード重要 500』（2013 年版）

- ・「外国人観光客の激減」
- ・「G7、10 年半ぶり協調介入」
- ・「インド高成長の 3 要因」・「インドの自動車市場」
- ・「アフリカで 54 番目の国誕生」
- ・「ボーイング社の最新鋭旅客機「787」」
- ・「中国の人民元改革」
- ・「中国漁船衝突事件」（尖閣諸島問題）
- ・「竹島問題（+日韓通貨スワップ協定）」
- ・「アルゼンチンとの貿易問題」・「急激な成長が続くブラジル経済」・「日系企業のブラジル事業展開」
- ・「シリア政府、デモ弾圧」
- ・「英国暴動」
- ・「ドイツ、脱原発法案を閣議決定」

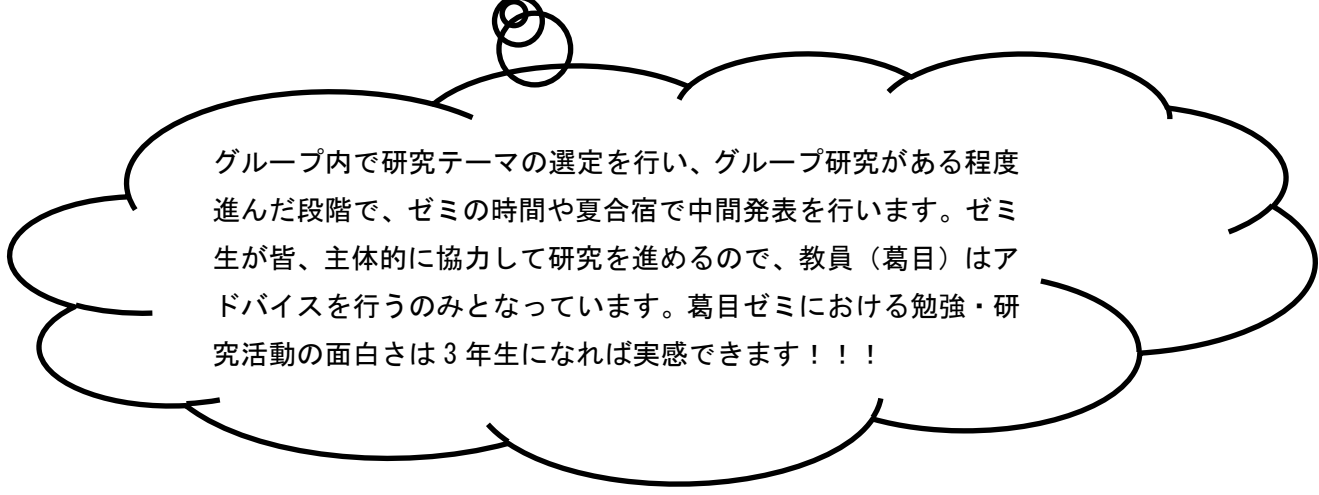


「日本経済新聞」の 1 年間の記事の中から重要な用語について、記者がさらに詳しく解説している本です。就職活動での必読書となっています！

③グループ・メンバーによる共同研究作業

1 期生（現 3 年生）の各グループの研究テーマ（仮タイトル）

- ・国際貿易・投資班：「日本における新エネルギー事業の実現可能性」
- ・国際金融班：「為替相場と訪日外客数の関係（統計分析）」
- ・開発経済班：「ブータン国民は本当に幸せか？」
- ・地域経済 A 班：「ブラジル経済に及ぼすリオデジャネイロ・オリンピックの効果（予測）」
- ・地域経済 B 班：「インドネシア周辺海域における海賊発生メカニズム」



グループ内で研究テーマの選定を行い、グループ研究がある程度進んだ段階で、ゼミの時間や夏合宿で中間発表を行います。ゼミ生が皆、主体的に協力して研究を進めるので、教員（葛目）はアドバイスをを行うのみとなっています。葛目ゼミにおける勉強・研究活動の面白さは 3 年生になれば実感できます！！